

2020年度 基礎研修 I 開催のお知らせ

東京社会福祉士会 生涯研修センター

基礎研修は、基礎研修Ⅰ・基礎研修Ⅱ・基礎研修Ⅲの3段階で構成され、社会福祉士会に入会して初めに受ける研修として位置付けられています。

本会では、基礎研修Ⅰを下記日程で開催します。2020年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、集合研修はZoomを用いたオンラインで実施します。基礎研修Ⅰの修了には、Zoomでの研修受講のほか、課題提出やeラーニング学習が必要です。

※基礎研修Ⅰは、所属する社会福祉士会での受講が原則となります（入会手続き中の方も申込みいただけます）。

なお、募集人数を超えて応募があった場合、受講決定においては当会会員を優先いたします。

※Zoomの受講においては、以下の**注意事項**をご確認ください。

※eラーニング学習については、研修1日目（11月8日）に案内します。

基礎研修とは・・・

○基礎研修は、基礎研修Ⅰ・基礎研修Ⅱ・基礎研修Ⅲの3段階で構成され、社会福祉士として共通に必要な価値・知識・技術を学び、社会福祉士の専門性の基礎を身につけることを目的としています。それぞれの研修に1年、合計3年にわたり受講を進めます。

○基礎研修は、生涯研修制度（都道府県社会福祉士会に所属する社会福祉士を対象とした制度）の基礎課程に該当します。

○基礎研修は、認定社会福祉士制度の認証研修（認定社会福祉士認証・認定機構に認証された研修）です。基礎研修（基礎研修Ⅰ・基礎研修Ⅱ・基礎研修Ⅲ）を修了すると、認定社会福祉士制度における認定社会福祉士の取得申請に必須となる共通専門10単位（生涯研修ルートで取得の場合）を得ることができます（その場合は、基礎研修Ⅰ受講開始から6年度間以内に基礎研修Ⅲまでを修了することが要件となります）。

○ぱあとなあ東京に新規で名簿登録を希望する方は、2017年度より基礎研修を修了していることが養成研修受講の要件となります。登録には他にも要件があります。

（詳しくは権利擁護センターぱあとなあ東京事務局までお問い合わせください。）

注意事項（Zoom受講について）

●本研修は、Zoomを使用して行います（集合型の研修ではありません）。

各自にインターネット環境、使用する端末にカメラ機能・マイク機能があることが前提です。

パソコンでの受講を推奨いたします（機材等の貸出等はありません）。

●受講者には、事前にカメラとマイクの環境確認をするための方法をお伝えします。

●当日、受講者側の通信状態が悪い、または機器設定ができない場合は、参加いただくことができない場合がございます。ご了承ください。

●研修受講時は、Zoom画面に受講者全員の名前、顔が映ります。ご了承のうえお申込みください。

なお、研修の記録として、本研修内容をレコーディングさせていただきます。ご了承ください。

（レコーディングした映像等については、記録以外に使用することはありません）

●受講者側での録画や録音は禁止いたします。

募集要項

1. 申込み～研修受講までのスケジュール ※課題の詳細は、次頁をご確認ください。

受講申込み受付期間	2020年8月7日(金)～8月31日(月)
受講決定通知書の発送	2020年9月上旬
事前課題 提出期間	<u>2020年9月7日(月)～9月28日(月) 必着</u> <u>事前課題(2本)</u> を作成し、郵送してください。
《研修1日目(Zoom)》日 時	2020年 11月 8日(日) 9:25～13:30
受講者交流会(参加自由)	// 14:30～16:00
《中間課題・e-ラーニング ^{*1} 》 課題・受講証明書提出期間	2020年11月9日(月)～12月18日(金) 必着 上記提出期間内に <u>中間課題6本、e-ラーニング受講証明書3通</u> を 郵送してください。
《研修2日目(Zoom)》日 時	2021年1月24日(日) 9:25～13:10
《研修3日目(Zoom)》日 時	2021年1月30日(土) 9:25～13:00

^{*1}e-ラーニングシステムにて、「社会福祉士会のあゆみ(約60分)」・「日本社会福祉士会の組織(約30分)」・
「生涯研修制度(約90分)」を受講します。

2. 申込み方法

下記のいずれかより、申込みフォームに入力のうえお申込ください。

・東京社会福祉士会ホームページ(トピックス → センター発)

・QRコード



3. 募集人数 60名 (先着順ではありません。応募者多数の場合は抽選にて受講者を決定します)

4. 受講決定通知の送付について

受講申込み受付終了後、受講決定者の方に9月上旬に「受講決定通知書」を発送いたします。

5. 受講料 11,000円 (別途、基礎研修テキスト代2,000円が必要です)

- ・テキスト代は、基礎研修テキスト[上]巻代として徴収します。
- ・受講料・テキスト代は振込みとなります。振込みについては「受講決定通知書」に記載いたします。
- ・受講料振込後の受講者都合による返金は応じかねます。

6. 研修の中止について

自然災害等、当会の責に帰さない事由による中止の場合は、振込手数料を差し引いた額を返金いたします。

7. Zoom 研修プログラム

※研修日程・時間は変更となる場合があります。詳しくは受講決定通知書にて案内いたします。

《研修1日目》 2020年11月8日(日)		
時間	科目	講座名
9:00～9:25	(オンライン) 受付	—
9:25～9:40	オリエンテーション	開会あいさつ、受講における注意事項
9:40～10:10	生涯研修制度独自科目	「東京社会福祉士会のあゆみ」(30分)
10:10～10:20	休憩(10分)	—
10:20～13:10 (休憩含む)	ソーシャルワーク理論系科目Ⅰ	「社会福祉士の専門性について考える」(150分)
13:10～13:30	事務連絡	e-ラーニング受講方法の説明、中間課題の説明、その他
	(終了)	
受講者ネット交流会 ※申込者のみ(事前申込みが必要です)		
14:30～16:00	受講者ネット交流会*	(参加は任意)

*受講者ネット交流会について・・・Zoom 研修1日目(11月8日(日))終了後に、オンラインで受講者交流会を行います(参加費:無料)。ひとり職種の方、中間課題(次ページ8.参照)に組むための人脈作りをしたい方、資格をとったけれども未経験で実践の話を聞きたい方など、ぜひ交流しましょう。(参加は任意です。参加を希望される方は、受講申込み時にお知らせください。)

《研修2日目》 2021年1月24日(日)		
時間	講座	講座名
9:00～9:25	(オンライン) 受付	—
9:25～9:30	本日の流れ	—
9:30～11:10 (休憩含む)	ソーシャルワーク理論系科目Ⅰ	「社会福祉士に共通する専門性の理解」(90分)
11:10～11:20	休憩(10分)	—
11:20～13:00 (休憩含む)	権利擁護・法学系科目Ⅰ	「倫理綱領・行動規範の理解」(90分)
13:00～13:10	事務連絡	—

《研修3日目》 2021年1月30日(土)		
時間	講座	備考
9:00～9:25	(オンライン) 受付	—
9:25～9:30	本日の流れ	—
9:30～12:50 (休憩含む)	権利擁護・法学系科目Ⅰ	「社会福祉士の倫理綱領の実践適用」(180分)
12:50～13:00	事務連絡	

8. 事前課題・中間課題の提出について

- ・書式は問いません。パソコンで作成、市販の原稿用紙を使用されても構いません。
- ・封筒宛名面に「基礎研修Ⅰ 事前課題（もしくは中間課題）」と明記してください。
- ・課題には1頁ずつ受講番号と氏名、課題ごとに合計文字数を記入してください。

事前課題 ※提出期間は、9月7日（月）～ 9月28日（月）必着です。

①「社会福祉士の役割を考える」（1200字程度）

「生涯研修手帳」を読み、生涯研修制度の概略を理解してください。そのうえで、社会福祉士としての専門性について、あなたの考えをまとめ生涯研修制度を通じてどのように研鑽を進めるかを、1200字程度にまとめてください。

②「社会福祉士としての専門性について考える」（800字程度）

「社会福祉士の倫理綱領・行動規範^{※3}」を読み、それを踏まえて、あなたが社会福祉士として大切にしたいことについて、800字程度にまとめてください。^{※3}2005年6月3日に採択された「倫理綱領・行動規範」を使用します。（2020年6月30日に採択された「社会福祉士の倫理綱領」は使用しません）。

中間課題 ※提出期間は、11月9日（月）～ 12月18日（金）必着です。

①「社会福祉士に共通する専門性の理解」（1200字程度）

『基礎研修テキスト』上巻のP10～P25「社会福祉士に共通する専門性の理解」を読んで、なぜ社会福祉士にとって共通する専門性が必要なのか、あなたの日頃の実践を振り返りながら、1200字程度にまとめてください。

②「所属組織のソーシャルワーク実践について学ぶ」（1200字程度）

所属組織におけるソーシャルワーカーとしての社会福祉士の役割を職場で活躍している先輩社会福祉士から話を聞いて現状を踏まえて考察してください。そのうえで、自らの現状と課題及び組織における現状と課題について、1200字程度にまとめてください。

※現在所属先がないなどの理由で、所属先で話が聞けない場合は、この課題は提出せず、中間課題③を3か所提出してください。

③「所属組織以外のソーシャルワーク実践について学ぶ」（1施設につき1200字程度、2か所以上）

他領域におけるソーシャルワーカーとしての社会福祉士の役割を、所属組織以外の施設や事業所（独立型社会福祉士事務所を含む）で活躍している先輩社会福祉士から話を聞き、所属組織以外の社会福祉士が抱えるソーシャルワーカーとしての現状と課題について考察し、それぞれ1200字程度でまとめてください。

④「倫理綱領・行動規範の理解」（1項目につき1200字程度、2項目を提出）

あなたの日頃の実践を振り返り、「社会福祉士の行動規範^{※3}」と照らし合わせ、行動規範のうち2つの項目を取り上げ、1項目につき1200字程度にまとめて実践を考察してください。

注意！！ 中間課題の提出は、合計6本の提出が必要です。

イ) 所属先がない方、所属先に社会福祉士がいない方（課題総数6本）

→中間課題①、中間課題③×3か所、中間課題④×2項目

ロ) 上記以外の方（課題総数6本）

→中間課題①×1、中間課題②×1、中間課題③×2か所、中間課題④×2項目

お問合せ先・課題提出先 公益社団法人東京社会福祉士会 事務局 生涯研修センター担当：渡会・岩本
〒170-0005 東京都豊島区南大塚3-43-11 福祉財団ビル5階
TEL：03-5944-8466 / MAIL：syougaiyensyuu@tokyo-csw.org